

本院における麻疹（はしか）の発生について【第一報】

国保多古中央病院

院長 片倉 達

令和7年8月4日（月）に、麻疹（はしか）の陽性者が当院に受診したことが判明しましたので、お知らせいたします。

陽性判明後ただちに、当該陽性者の隔離、濃厚接触者の特定等、適切な対応を実施しております。引き続き、最善の感染対策に努めてまいります。

◆ 感染波及の可能性がある日時

令和7年8月4日（月） 9：34～12：34

◆ 当院の患者様へ

上記日時に当院を受診された方で、今後、下記の麻疹を疑う症状が出現した場合には、速やかに 香取保健所 TEL:0478-52-9161へご相談ください。

【麻疹（はしか）について】

原因：麻疹ウイルス

潜伏期間：約10日～12日間（最大21日間）

症状：感染の約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現する。

治療：特異的な治療法はなく、対症療法を行う。

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で感染力は強い。

感染症法：5類感染症（保健所への届け出が必要）

予防方法：ワクチン接種